

【図1】

## 北イスラエル王国の年代表(改訂)

●北イスラエル王国には10の王朝に19人の王が登場する。★印は極めて最悪な王

王朝	王の名前	即位	治世期間	首都	預言者	南北の関係	備考	
ヤロブアム王朝	① ヤロブアム★	931	22年	シュケム	アヒヤ	対立時代 ↓	後々まで悪名を残した。	
	② ナダブ(暗殺)	910	2年					
バシヤ王朝	③ バシヤ	909	24年	テルツィア	エフー		↓	
	④ エラ(暗殺)	886	2年					
ジムリ王朝	⑤ ジムリ(自殺)	885	7日			↓		北王国が二つに分裂
オムリ王朝	⑥オムリ★	885	12年	サマリヤ	エリヤ		協調時代 ↓	アハブは政治的には有能な王であったが、北王国最悪の王、そしてその悪妻イゼベル
	⑦アハブ★(戦死)	874	22年					
	⑨アハズヤ(病死)	853	2年		エリシヤ			
	⑩ヨラム(暗殺)	852	12年					
エフー王朝	⑪エフー	841	28年		アモス ホセア	対立時代 ↓	最も繁栄した時代	
	⑫エホアハズ	814	17年					
	⑬ヨアシユ	798	16年					
	⑭ヤロブアムⅡ	793	41年					
	⑮ゼカリヤ(暗殺)	753	6ヶ月					
シャルム王朝	⑯シャルム(暗殺)	752	1ヶ月			↓		
メナヘム王朝	⑰メナヘム(暗殺)	752	10年					
ベカフヤ王朝	⑱ベカフヤ(暗殺)	742	2年					
ベカ王朝	⑲ベカ(暗殺)	740	20年					
ホセア王朝	⑳ホセア(投獄)	732	9年					
722年 サマリヤ陥落とアッシリヤ捕囚								

【図2】

南ユダ王国の年代表

●南王国は、北イスラエル王国と違って王朝の交代がない。ただ、アハズヤのあとのアタルヤによる治世6年間は、ダビデ王朝が中断した唯一の期間である。マタイ福音書の系図と比較すると、系図の方ではNo. 6～No. 9が省略されている。省略の理由として、この4人が家来によって殺されたことが考えられる。●王の評価の基準は、「主に忠実だったか、偶像礼拝に傾いたか否か」であり、必ずしも王の政治的手腕や世俗的業績についての評価ではない。ユダ王国の宗教改革は、周辺諸国、特に、アッシリヤやエジプトの衰退と密接な関係がある。

	王名	即位	治世期間	評価	預言者の活動	南北関係	備考	
1	レハブアム	931	13年	悪	イザヤ ミカ 預言者 空白時代 エレミヤ (624活動) エゼキエル	対立時代	ユダ王国第三代目の王	
2	アビヤム	913	3年	悪		分裂王国時代		
3	アサ	911	41年	○善			徹底的な宗教改革を断行	
4	ヨシャパテ	872	25年	○善		協調時代	宗教改革の報酬としての平和と繁栄	
5	ヨラム(病死)	854	8年	悪			妻の影響でバアル礼拝を許容する	
6	アハズヤ(暗殺)	841	1年	悪				
7	アタルヤ(暗殺)	841	6年	●最悪			対立時代	ヨラム(南王国の王)の妻、イゼベルの娘
8	ヨアシユ(暗殺)	835	40年	○善				大祭司エホヤダにより即位する
9	アマツヤ(暗殺)	796	29年	○善				
10	ウジヤ(アザルヤ)	790	51年	○善				晩年、高慢になりらい病になる
11	ヨタム	750	16年	○善			722	民は偶像礼拝と不正に走った
12	アハズ	735	16年	悪			サマリヤ陥落	バアル礼拝を再び導入
13	ヒゼキヤ	729	29年	善			ユダ単一王国時代	宗教改革 エジプトと同盟を結ぶ
14	マナセ	696	55年	●最悪				アッシリヤに従属する偶像礼拝を再び導入
15	アモン(暗殺)	641	2年	悪			612	アッシリヤの国家宗教を導入
16	ヨシヤ(暗殺)	639	31年	◎最善			二ネベ陥落	律法の書による宗教改革を断行する
17	エホアハズ(獄死)	608	3ヶ月	悪			新バビロン帝国台頭	エジプトの属国となる
18	エホヤキム	608	11年	悪				エジプトによって即位させられる
19	エホヤキン	598	3ヶ月	悪			597 第一捕囚	エレミヤの預言の巻き物を焼く
20	ゼデキヤ(獄死)	597	11年	悪			586 第二捕囚 582 第三捕囚	ネブカデネザル王に反抗し捕囚の身となる
		586年エルサレム陥落(神殿が破壊される)バビロン捕囚(列王記第二 25章,28節)						